

(公財) 日本リウマチ財団リウマチ登録薬剤師研修カリキュラム

【教育（課程）目標】

医療機関の実践現場においてリウマチ性疾患ケアチームのメンバーや地域の薬局におけるリウマチ性疾患薬物療法を提供する薬剤師として、倫理観を有し、必要とされる知識や技術を備え、患者や家族および他の医療職、国民から信頼されるリウマチ性疾患薬物療法に精通した薬剤師を育成する。

【一般目標】

適切な包括的臨床判断を行い、他の医療職と連携・協働して薬剤師の視点から質の高いリウマチ性疾患薬物療法の薬学的管理指導を実践・指導できる。

【到達目標（行動目標）】

- 1) リウマチ性疾患薬物療法に対して、薬学的知見とリウマチ性疾患薬物療法に関する専門的知識をもとに、高度に熟練した薬学的管理指導を提供できる。
- 2) 患者の個性に配慮し、適切な臨床情報と薬学的知見に基づいて、安全・安心・安楽なリウマチ性疾患薬物療法を提供できる。
- 3) 医療チームの中で緊密な連携と協働を行い、あるいは地域の薬局において医療機関と連携をとり、リウマチ性疾患薬物療法に対する薬学的管理指導をリーダー的立場で実践し、またリウマチ性疾患薬物療法に関する教育・指導・相談に応じることができる薬剤師のロールモデルとなる。

＊リウマチ性疾患ケアとは、高い倫理性と専門的な知識・技術を備え、同僚に対する指導・相談を通し、他の医療職と連携・協働して安全・安心の治療とよりよい療養の継続を支える活動をいう。リウマチ性疾患ケアの対象は関節リウマチ性疾患のみならず、広くリウマチ性疾患すべての患者を対象とする。

単位取得期間：5 年

対象・資格：薬剤師

修得科目は以下 3 つの領域からなり、習得すべき教育研修単位は 20 単位以上とする。

- 1) 医療における専門職業人としての倫理観や責任感を養う。
- 2) リウマチ性疾患薬物療法に必要な知識や技術を深める。
- 3) リウマチ性疾患ケアチームの一員として、あるいは地域の薬局薬剤師としてリウマチ性疾患薬物療法を円滑にかつ安全に遂行できる能力を養う。

教育研修科目と取得単位

大項目	中項目	小項目	講義内容	
Ⅰ. 医療における専門職業人としての倫理観・責任感 カリキュラムコード 1 :合計2単位	1-1 医療倫理 (1単位)	1)人権と倫理	人権、尊厳の理解 医療倫理、薬剤師倫理	
		2)倫理問題への対処	①診断・治療に伴う倫理諸問題	
			②患者の意思決定支援	
1-2 コミュニケーション(1単位)				
Ⅱ. リウマチ性疾患薬物療法に必要な知識・技術 カリキュラムコード 2 :合計14単位	2-1 疾患と治療の理解 (4単位)	1)診断	疫学、検査、病態生理学、重症度・病期分類	
		2)治療	最新の治療、治療目標 薬物療法、外科的治療、 リハビリテーション治療等	
	2-2 リウマチ性疾患薬物療法に関する理解 (1単位)	1)非ステロイド性抗炎症薬・副腎皮質ステロイドの理解	物理化学的性質・薬理作用・毒性・薬物動態・薬物相互作用・PK/PD・剤型・含量規格・保険診療上の留意点などの薬学的知識、副作用モニタリング、薬価、無菌的混合調製、後発品薬・バイオシミラーの特徴	
		2)抗リウマチ性疾患薬の理解		
		3)生物学的製剤の理解		
		4)免疫抑制薬の理解		
		5)骨粗鬆症治療薬の理解		
		6)その他(二次的症状に対する治療薬を含む)		
	2-3 薬物療法に対する薬学的管理指導の実践 (1単位)	1)服薬指導のポイントの理解	服薬指導のポイント、注意すべき副作用の早期発見、検尿及び血液検査のモニタリング、服薬状況の把握、剤型の選択、調剤方法の工夫、自助具の工夫	
		2)注意すべき副作用およびモニタリングの理解		
		3)服薬困難患者への支援		
	2-4 公的社会保障制度・社会福祉 (1単位)			
	2-5 その他 (1単位)	1)治験		
		2)薬物動態学に関する遺伝子多型解析		
		3)災害時リウマチ性疾患患者支援		
		4)在宅ケア		
		5)学会・研究会等における発表、論文掲載(筆頭・共同研究)を含む		
Ⅲ. リウマチ性疾患ケアチームの一員、あるいは地域の薬局薬剤師として業務を円滑に遂行できる能力 カリキュラムコード 3 :合計4単位	3-1 チームアプローチ (1単位)	1)チーム連携・協働における薬剤師の役割(調整)チーム力の効果的な活用方法		
		2)院内あるいは地域における継続的な薬物療法に対する薬学的管理指導		
		3)地域保健、地域連携のあり方		
	3-2 医療安全 (1単位)			
	3-3 リーダーシップ (1単位)			
	3-4 コンサルテーション(1単位)			

※カリキュラムコードは緑色の数字 ○-○です。